

教職員の組織力の向上を図る学校経営

I 主題設定の理由

現在、学校は、児童生徒の「生きる力」の育成、学力の向上、豊かな心の育成、いじめ・不登校の克服、危機管理等、内外に様々な教育課題を抱えている。このような状況の中、学校には、創意と活力ある学校経営・運営を行い、特色ある教育活動を展開することが求められている。また、校長を先頭に学校の教育力（学校力）の向上を図り、学校教育目標を達成し、保護者や地域に開かれ信頼される学校づくりが求められている。この学校課題に応えるためには、教職員個々の力量の向上は勿論のこと、教職員集団としての質の高い教育実践力の向上が必要である。そこで、教育目標の具現化に向かう教職員の組織力の向上を図る手だてと学校経営の在り方を解明するためこの研究主題を設定した。

II 研究の概要

1 研究計画と経過

本研究は、平成18年度、19年度の2年次にわたる研究である。1年次は、2支会の各小学校の学校教育目標、校務分掌を分析し、組織力の現状を探った。また、教職員への組織力に関わる意識・実態調査を作成し、実施した。さらに調査結果から、教職員の組織力を高める校長（経営）の在り方（具体的方策）をまとめた。

2年次には、教職員の組織力を高める具体的方策を実践し、その成果と課題をまとめることを通して、今日的教育課題に対応するよりよい学校経営を追究する。

2 研究内容と成果

(1) 教職員の組織力の現状

各校の現状を探るため、学校教育の方針や指導重点、校務分掌を持ち寄り分析を行った。教育方針や指導重点では、知徳体の能力の育成の他に、いじめ・不登校への対応や学校内外での児童の安全確保等の今日的な教育課題に対応する内容が掲げられていた。また、学校に必要な分掌は各校とも整備されているが、学校規模に関係なく一人の教師がいくつかの分掌を担当しなければならない実態もあった。さらに、「〇〇太鼓」等のその校独自の伝統的な分掌も見受けられた。

(2) 教職員の組織力に関わる意識・実態調査

教職員の組織力の向上に関わる内容について、8小学校、126人の教職員を対

象にアンケート調査を行った。調査内容は、学校教育目標の共通理解と実施、職員会議、校務分掌、各種主任会議、教職員間の教え合い学び合い、校内研究、教職員の職務への意欲・やり甲斐、協働体制、期待される教師像、教職員の評価制度、教職員集団の指導力を高める手だて、の11項目である。

(3) 調査結果の分析と考察

アンケート調査の結果、次のように校長として教職員の組織力の向上を図る具体的方策が明らかにされた。

- ア 学校教育目標の具現化のため、まず校長が明確な教育ビジョンを示し、十分な教職員への意識化とコミュニケーションの充実を図り実践する。
- イ 職員会議は、具体的な教育実践について共通理解と意思統一を図る場であり、校長は組織的な実践の見通しが持てるよう適切な指導を行う。
- ウ 校務分掌を担当する教職員に適時に適切な評価と指導援助を行い、力量が高まるよう支援する。
- エ 各種主任会議等は、定期あるいは適時に内容を吟味する中で開催し、諸課題に迅速に対応する。
- オ 教職員間での教え合い学び合いを奨励し、気軽に相談できる職場の雰囲気づくりと仕事を通して互いに信頼し合う人間関係づくりに努める。
- カ 校内研究では、学校課題の解決に向かうテーマ設定のもと、個人及び集団としての力量が高まるよう適切な指導助言を行う。
- キ 担任・担当教師に児童が学習、生活両面から変容できるよう多方面からの支援を行い、教職員の意欲を高めやり甲斐が実感できるよう努める。
- ク 教職員間の連携や協働体制の成果を分析的に評価し、一丸となって職務に専念する職員の志気を高める。
- ケ 教職員の評価制度が個人の指導力や資質の向上に有効であることは認められたが、組織力の向上を阻害しないようその運用を工夫する。
- コ 教職員の手本となる期待される教師像を具体的に示すと同時により良き教師を目指して励むよう支援する。
- サ 教職員間の連携や協力した教育活動を評価し、集団（組織）としての指導力を意識させるよう努める。

III まとめと課題

本年度は、学校を取り巻く今日的課題となっている学校の教育力（学校力）の向上を図るため、教職員の組織力を高める具体的な方策について明らかにできた。次年度は、この具体的方策にもとづく各校での実践を通して、校長として、学校経営の在り方をさらに追究する必要がある。

(部長 宿澤 齊)